

山行報告書

山行管理部

土曜山行 岩湧山～岩湧のてっぺんを吹く枯芒 12月14日

L：森（保）SL：原・伊藤・網 参加：全26名

9:55 滝畑ダム－10:10 登山口－10:39 カキザコー－12:10 頂上－13:00 下山開始－
13:23 五ツ辻－14:02 根古峰－14:20 三合目－14:53 林道－15:30 紀見峠駅

三都を走り抜け大阪の最南端までやってきた、昨晚紀美町でふたご座流星群を眺めた足でやってきた、すすきを見ながらダイトレを歩いてみようと早起きしてやってきた、さまざまな顔が滝畑ダムに集う。

足慣れた顔が揃っているが、いつもよりゆっくりだというリーダー。しかし、初めからの思わぬ急登は意外に早くからだを温め、10分足らずで衣服調整となる。およそ30分ごとに7～8分の休憩をとりながら、最後の急登階段を前に心の整理をつけ、いざ、出発～ひたすら足元を見つめて一步一步、振り返ればすすき越しの街、海、霞んでいるがあれは六甲山脈。10分ほどの階段を登りつめ、頂へ！しかし、頂上付近のすすきが痩せている～温暖化の影響で紅葉が遅くなっていると言われているが、やはり、すすきの穂は風に飛ばされている。

復路、歩き始めて10分ほどの岩湧寺への分岐で、両前足を揃えて座る大型犬を連れたご夫婦と出会う。山で出会う犬はお利口で、飼い主の笑顔がいい。この先、五ツ辻から東、東へと分岐を下りながら、落ち葉の感触、ひんやりした空気と木漏れ日を楽しむ。

緩やかな下りでは誰かの大笑いが聞こえていたが、三合目からの下りは足場を選んで慎重に。川まで下りたら山道は終わり、予定より10分早く紀見峠駅到着。

健脚なリーダーの慎重かつ的確なタイム調整、リーダーを信頼し、従うみんなの柔軟な心。おとなの山歩きを楽しめた一日をありがとうございました。

※忘年会に参加されなかったみなさま～ご想像のとおり、山と同様、誰ひとり置いてきぼりになることなく、笑いを満喫しましたことをご報告します。

(網 記)

教育部 2019 納山会 鎌倉峡・不動岩・百丈岩 12月28～29日(土日)

【参加者】7名 (CL 高桑, SL 森庸, 家納, 松本光, 木村順, 森永, 網)

【コース記録】

28日 JR尼崎前 09:30 — 不動岩 11:30 — 鎌倉峡 16:00

29日 鎌倉峡 10:00 — 百丈岩 14:30 — JR尼崎 15:30

- ・不動岩でトップロープでの岩登り
- ・テント設営、テント内での炊事やマナーなどの実技訓練

- ・河原でツェルトの利用方法、ロープの支点の作り方、ロープワーク
- ・百丈岩のスラブで登攀訓練

【感想】

天候優先のあいまいさで参加者に混乱もあったが好天に恵まれ、年末の忙しい時にも拘らず7名が参加した。又、装備、食担も敢てザックリな指示で試したが各自、見事な対応で準備ができ食材も完食した。

テント内では今後の教育部予定や総括について有意義に語り合う。

翌日はその意見を反映してロープワークやツェルトの利用方法等の講習をする。百丈岩スラブでの登攀訓練も新鮮味と緊張感もあって楽しめた。

(高桑 記)

自然保護 探鳥会・大泉緑地(堺市) 1月5日 CL井 SL目加田 参加14名
 出発地点の大泉池では、ヒドリガモの群れに1羽の頭部白筋のアメリカヒドリが見られました。水流の道筋では指呼の間にシジュウカラとメジロの混群、アトリなどを、上空にはタカ2羽が飛ぶのをMさんと視認しましたが、残念ながら識別は出来ませんでした。加呂登池では、下見の時はユックリ見られたカワセミが、水枯れのため場所替えていて不在でした。しかし、昼食後、傍の園路から高木に、珍鳥ヒレンジャク2羽をSLが見つけてくれました。隣ではツグミが同じ木の実をついでいました。頭泉池では不運にも「常駐」のオオタカが不在(この為、野鳥カメラマンも僅少な人数でした)で見る事が出来ませんでした。付近で、期待していたコイカルは現れませんでした。笠伏山(29m)ではカシラダカが出ましたが、直ぐに飛び去り望遠鏡を持っていたCLだけが確認しました。最後に大泉池はすみ橋付近で、人気鳥カワセミを全員ユックリ観察出来ました。水辺の野鳥としては定番ですが、終了直前に美色のヒスイ色の背を見せてくれホッとしました。

カモ科の♀鳥や飛翔中のタカ・ハヤブサ識別のため、野鳥図鑑をこまめに活用する必要性を再認識した1日でした。野鳥カメラマン2人に当日現地で、ヒレンジャク出現情報を提供しましたが、翌日以降、野鳥カメラマンやバードウォッチャーでにぎわったようです。野鳥確認種数はガンカモ科7、カモメ科1、ミサゴ科・ワシタカ科・ハヤブサ科0、その他28の合計36でした。

(井 記)

土曜山行 棧敷ヶ岳 1月11日 CL堺、SL湯浅・島袋 参加24名

J R 京都線新快速・近江塩津行⑧7:30 発→京都 7:59 着

地下鉄烏丸線・国際会館行②8:07 発→北大路 8:20 着もくもく号(バス) 8:40 発→雲ヶ畑岩屋橋 9:10 着 岩屋橋バス停 9:30 発～志明院 9:50 着～薬師峠 10:25

着～岩茸山分岐 11:25 着～鉄塔 10:55 着～棧敷ヶ岳 12:05 着（昼食） 12:30 発～
祖父谷川林道 13:15 着～岩屋橋バス停 14:10（解散）

もくもく号 15:10 発→北大路バス停 15:40 着→京都→大阪

たっぷりの雪を楽しもうと企画したものの、今年の異常なほどの暖かさのため、全く雪はなし。霜柱がちらほら。それでも暖かい日差しとすばらしい天気恵まれ、京都北部の山々の眺望を楽しむこともできた。頂上は風もなく昼食時間もたっぷりとることができた。15:10 発のバスに乗り遅れたら大変とずっと思っていたため、休憩時間もろくに取らず逆に1時間も早く着いてしまったために暖かい日にもかかわらず、体は冷え切ってしまった。時間配分のむつかしさをつくづく実感しました。（堺 記）

ターブル ※霧氷祭りの三峰山※ 1月19日 CL 飯塚/SL 元 参加 25名
みつえ少年旅行村 9:40 → 三峰山山頂 12:25 → 八丁平（昼食 12:40～13:00）→ 山小屋分岐 13:25 → 不動滝 14:15 →
みつえ少年旅行村 15:00（解散）

雪の女王からのご褒美でしょうか…登山道を登るに連れ徐々に雪が現れ始め、中間地点を過ぎる頃には、久々の『ザック、ザック』と雪面にアイゼンの感覚も嬉しく♪冬晴れの青空の下（心の中で、「ありのままの～♪」と唄いつつ）山頂へと続く霧氷・樹氷のトンネルをくぐり抜け、一帯の銀世界を楽しみました。また風も穏やかで、展望の良い八丁平での昼食は解放感いっぱいでした。この暖冬からは奇跡？のようなタイミングで、穏やかな晴天と雪+霧氷+TV 取材のおまけ付きのご褒美に、ご参加頂いた方々の協力、SL+部長・副部長の助けがあって予定通りの時刻に全員無事下山する事が出来たと思っています。予想を上回るご参加に喜びながらも、注意喚起の声掛けの伝達、休憩・アイゼン着脱のタイミングや安全な場所の見極め、足並の遅れや足のトラブル等による班再編の判断の難しさが、自身の宿題となりました。（飯塚 記）

有志山行 新春ハイキング小塩山 1月3日

CL 児玉、 SL 岩佐、 サポート 早川、井上 参加者 18名
阪急梅田駅 08:12→東向日駅 09:12→南春日町バス停→大原野神社（体操）10:10→正法寺→天皇陵道（急登）→12:05 小塩山（淳和天皇陵）昼食 12:40→金蔵寺 13:45→東海道自然歩道→墓石の墓場所→杉谷→善峯寺バス停 15:24→東向日駅
ハイキング前に参加者が本年の安全を祈願した大野原神社は紫式部が氏神と崇めたとされた重厚な歴史を感じる静かな神社でした。天皇陵道は急登なうえに落葉が何重にも山道を覆って滑りやすく、金蔵寺への下り山道では倒木、迂回などで多少迷うことも有りましたが無事に初登りできました。天候に恵まれ、正月でちょっと重くなった身体の良いトレーニングになりました。（井上 記）